

プロフェッショナルのためのニュースレター「ドミノ」

DOMINO

Bayer Pest Management

2009. 11

VOL. 8

DOMINO ネット配信スタート!!

●世界各地  の業界事情

シロアリ群飛が少ない!

●緊急レポート

基礎断熱構造ヤマトシロアリ駆除工事

●検 証

**新規剤は、どのようにして
開発・発売されるのか!**

●誌上セミナー

アジェンダフォーム取り扱いの注意事項

●クレーム処理ファイル

超過敏症!!

鯉が死んだ!?

事前点検(工事前の調査)を!

●Top News

開催日および特別講演決定!!

バイエルしろありセミナー

ハチクサンFL

乾材シロアリ用駆除薬剤として登録!

木部処理剤ハチクサンME 新発売!

来春発売

アリ用ベイト剤

**マックスフォース
クアンタム**



マックスフォース クアンタムに群がるアルゼンチンアリ(平成21年8月広島で撮影)



Bayer Environmental Science

DOMINO ネット配信スタート!!

7号でPTT(Protecting Tomorrow...Today「未来のために今日から!」)と言うバイエルグループとして業界への持続的発展のための行動指針をご紹介しました。我々は、“この地球は祖先から譲り受けたものではなく未来の子供たちから借りているのだ。(サン＝テグジュペリ「星の王子様」より)”という言葉を重ね受け止め、未来のあるべき姿を描き、持続的発展のために今出来ることから行動を開始しております。

その一環として来年2月末発行予定の9号より、ご愛読いただいておりますドミノをメール配信いたします。

バイエルクロップサイエンスのホームページにアクセスの上、下記の手順に従いメールアドレス等ご記入ください。次号より配信日などをご登録いただいたアドレスにご案内いたします。ご意見なども画面上にて承ります。今号からも下記のURLから閲覧できますのでお試しください。

ドミノネット配信の登録手順

1

ネット上でバイエルクロップサイエンスのホームページを開きます。

(<http://www.bayercropsscience.co.jp/>)



2

左側の、バイエルエンバイロサイエンスはこちら、をクリックするとエンバイロサイエンス事業本部のページに移動します。

3

NEWSを開くと左下にドミノの表紙が出ます。



4

この表紙をクリックすると、“お問合せと資料請求のページ”になります。

5

このページの下“入力内容を修正する”をクリックして、必須事項全てを記入し(数字は全て半角英数で入力してください、お問い合わせ内容はドミノネット配信と記入してください。)、登録を押して送信します。

- 弊社でそのアドレスを登録・管理します。
- 配信日の前後に弊社よりアドレス先すべてに配信日および内容の概略をご案内します。
- ネット上でのドミノの見方
8号のURLは、
<http://www.bayerenvironmentalscience.jp/pdf/domino/DM008.pdf>
- なお、質問・要望などは、
domino.magazine@bayercropsscience.com
へメールでお問い合わせください。

※ご提供いただく個人情報は、ドミノのネット配信にのみ利用させていただきます。その他の目的で利用することはありません。

ご登録いただいた方の中から抽選で20名様に地方の名産品をプレゼントいたします。



シロアリ群飛が少ない！

日本でも近年群飛が昔に比べると少ないという事実が話されておりますが、アメリカでも同様な現象が起っています。

フロリダ大学の建造物害虫・都市昆虫学のコエラー教授によると、近年シロアリの群飛が少ない理由は、地球温暖化による土壌水分の低下でシロアリは北へ向かって移動していること、および非忌避性薬剤による防除で家屋内からの群飛が少なくなった、のではないかと話しています。

土壌および木部の水分はシロアリが生存するためには不可欠ですが、乾燥してきたからといってシロアリが少なくなっているということではありません！ シロアリは地球上で如何に生活環を保持しながらコロニーを発育させるかを学んでいるのです。地球温暖化現象でシロアリはフロリダからより北へ北へと移っています。近年カナダでもヤマトシロアリの近縁種 (Eastern subterranean termites) がみられます。

忌避性薬剤はシロアリを家屋内に留めて動かさないようにしていたので、彼らは最後の生き残りをかけ群飛していた、といっても過言ではないと思います。

土壌を忌避性薬剤で処理するとシロアリは水分を取るための土壌侵入ができなくなり、家屋内で水漏れがない限り家屋内に閉じ籠り、時節を待って群飛するのです。反面非忌避性薬剤はシロアリを死滅させるので家屋内からの群飛が少なくなってきたのではないのでしょうか？

でもシロアリは家を加害しながら生き残っています！

群飛がないと施主もシロアリはいないものだと思います。専門業者へ相談しなく、結果的に知らず知らずのうちにシロアリは家屋内の壁の中で猛烈に活動しているという状態が生まれます。

したがって、施主への教育が重要です！ 群飛が観られないからといってシロアリがいないということではないのです！

シロアリは不思議で神秘的な昆虫です。知らぬうちに群飛もせぬまま家を加害することができるのです。



小笠原のイエシロアリの羽蟻（吉野白蟻研究所様提供）

来春発売

アリ用ベイト剤「マックス」

マックスフォース クエンタムは、当社モンハイム研究所(ドイツ)にて開発されたイミダクロプリドを有効成分とするアリのベイト剤です。本剤は蜜嗜好のアリだけではなく、タンパク質嗜好のアリも対象とした喫食性の高い低薬量(有効成分0.03%)のベイト剤ですので、薬剤はターゲットのアリに短時間で食べ尽くされ、その後の伝播効果によりアリの巣が駆除されていきます。

特 長

- 蜜嗜好のアリだけでなくタンパク質嗜好のアリにも有効。
- 保湿性を高めた製剤なので喫食性が長時間持続。
- 伝播効果により発生密度が減少。
- 低薬量(イミダクロプリド0.03%)のアリ専用ベイト剤。
- アルゼンチンアリ防除のように広域な処理が必要な場合でも、液剤散布に比べ環境への負荷が少ない。
- 誤食防止剤が添加されている。

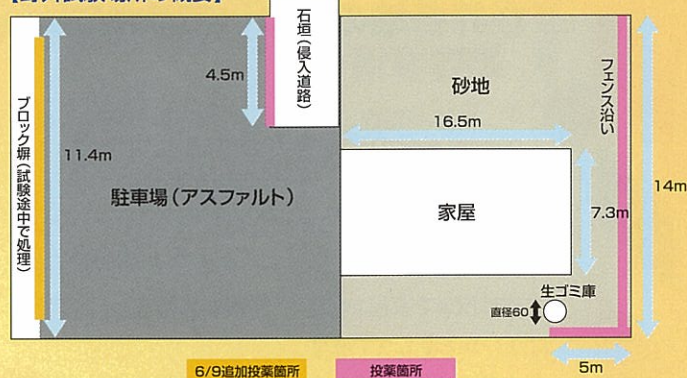
使用時の留意点

- 使用前に使用説明書をよく読む。
- ベイト剤のため処理予定の周辺からアリの餌となるような食物(含む生ごみ)を処理前に排除しておく。
- アルゼンチンアリのような発生密度の高いアリに対してはその発生状況により適宜量の薬剤処理が必要。
- 巣穴への直接処理は有効。
- 薬剤がしみこみやすい場所(土壌)ではベイトステーションを使用するとより効果的で環境に配慮した防除が期待できる。また、コンクリート面など薬剤がしみこみにくい場所ではベイトステーションは不要。
- 24時間以内に薬剤が降雨にさらされた場合は再処理が必要。
- 不要な薬剤は水に浸したスポンジでふき取りが可能。

表紙写真のアルゼンチンアリ防除は、広島県薬業(株)様のご協力のもと現場試験を実施しました。マックスフォース クエンタム処理直後からアルゼンチンアリによる本剤の喫食が始まることを観察でき、喫食後アルゼンチンアリの発生密度が目視により減少することが確認されるまでにおよそ2日～7日程を要することが分かりました。これは有効成分のイミダクロプリドの効果発現の特長を生かした本剤を摂食したアルゼンチンアリから未摂食のアルゼンチンアリへの伝播効果に必要な時間と考えられます。この伝播効果によりアルゼンチンアリの巣の駆除が進行しアリの発生密度が減少することにつながります。

アルゼンチンアリの特性として広域にコロニーが発生

【野外試験場所の概要】



している場合、本試験でも観察されましたが駆除された巣に数日後、隣地のコロニーからアルゼンチンアリが侵入し一度駆除された場所で新たな発生を起こすことがあります。しかし侵入したアルゼンチンアリに対して新たにマックスフォース クエンタムを処理することにより居住者の生活に影響のないレベルでアルゼンチンアリの活動密度を低下維持できる可能性があると思われます。

本剤を直接土壌に処理した場合、土中にしみ込む場合があり、十分に摂食されません。本試験ではフェンス沿いの試験では砂地への処理でしたので土中へのしみ込みが見られました。更に本年は梅雨明けが遅く降雨によるアルゼンチンアリの活動及び処理直後の薬剤が溶出することによる効果への影響の可能性もありました。このため本剤の野外の使用で安定した効果を発揮するためにはベイトステーションの利用をお勧めします。

以下に、広島県薬業(株)竹中宏樹様と山下大志様のご協力を得て現在試験中の広島県廿日市市における、アルゼンチンアリに対するマックスフォース クエンタムの中間試験状況についてご紹介いたします。

試験場所は広島県廿日市市内のアパート敷地で試験期間は5月27日～8月27日(試験続行中)試験評価は広島県薬業(株)様の自社繁殖指数によります。

野外試験の中間状況

本試験ではまずアルゼンチンアリに対する本剤の効果確認を第一の目的として試験を行った。最初はアルゼンチンアリの営巣箇所や通り道に1スポット約1.5g処理した。発生は少なくなり、死骸も確認したが、激減とまでは行かなかった。降雨の影響もあったためか、1週間もしないうちに、元の繁殖指数に戻った。

「フォース クwantum」

そこで、石垣付近で6月2日に投薬量を1スポット10gに増やしたところ約10日で発生がなくなった。しかし、約2ヵ月後、徐々に発生し始めた。ブロック塀では6月9日処理後約1ヶ月間は指数0にはならなかったが、7月6日に追加投薬すると約20日で発生がなくなった。処理後数日で効果が現れ、アルゼンチンアリの発生数は減少するが、個体数の多さの違いや降雨などの影響で、効果の現れ方が様々である。

一方、本試験地内のアパートでは昨年までアルゼンチンアリによる家屋内の侵入が発生し住民の方が困っていたが本年8月末時点では本剤の使用によりアルゼンチンアリによる家屋内への侵入は発生していない。

ベイト剤による施工は液剤や粉剤散布による施工と比べると、人体や環境への影響が少なく、安全性に優れた施工方法である。その一方で、月に何度も施工し、長期的管理を行う必要があり人件費など、経済的負担がかかる可能性がある。このため今後、アルゼンチンアリの発生生態に応じた処理時期、処理回数及び処理薬量等について更に試験例を積み重ね経済的な処理方

法について検討を行う必要があると考えられる。

アルゼンチンアリは活動の広域性から根絶することは困難であると考えられ、このため環境面にも配慮し、居住者の日常生活に影響を及ぼさない程度の活動レベルに維持管理することが当面の現実的な目標になると考えられる。本剤はその役割を担う薬剤の一つになる可能性があり更に試験例を積み重ね実用化を検討したい。

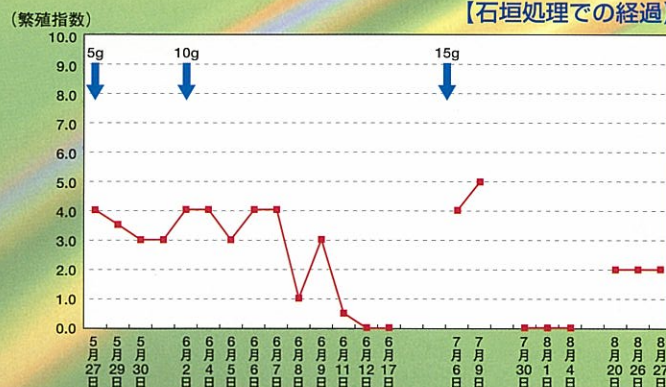


(写真はドイツ発売時のもの)

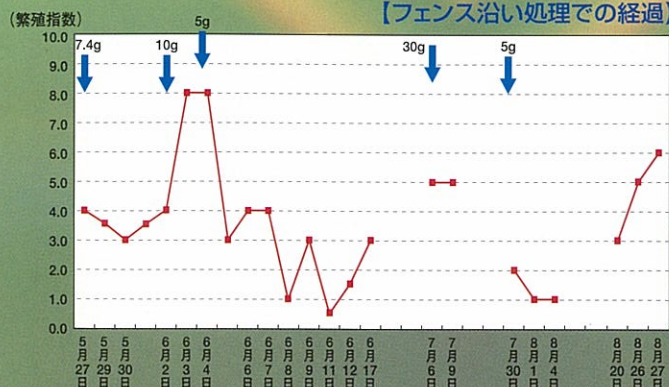
<繁殖指数4:5月27日石垣処理前>



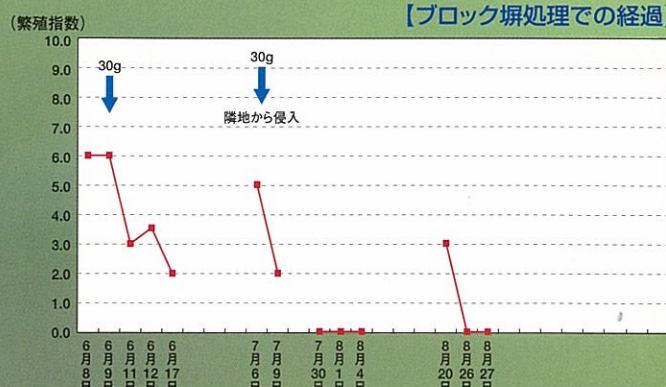
【石垣処理での経過】



【フェンス沿い処理での経過】



【ブロック塀処理での経過】





基礎断熱構造ヤマトシロアリ駆除工事

株式会社東海白蟻研究所 星野伊三雄 (防除士No.923)
【電話】0564-24-7566 【メールアドレス】shiroari@sun-inet.or.jp

【 シロアリ対策に防除工事、それは駆除・予防工事の間違いでは? 】

「予防工事」「駆除工事」とすべきところを、いつ頃からか「防除工事」と言われるようになってしまいました。予防工事とはシロアリが建築物に侵入しないようにする工事であり、駆除工事とはすでに侵入して被害を及ぼしているシロアリを殺虫する工事で、目的が違うとともに、施薬箇所も異なります。薬剤量も予防

工事と駆除工事では大きく異なります。予防工事では、目的建物を一定期間(保証期間)守れる効果が必要ですが、駆除工事では現在加害しているシロアリを殺虫できる最低限の量で十分です。

予防工事に使える材料は、薬剤、岩石粒子、ステンレスメッシュなどがありますが、現場で使用する時に一

番重要なことはシロアリの生態と該当建築物の構造です。駆除工事の現場で使える材料は今のところ薬剤しか思い浮かびません。マイクロウェーブや熱を利用する研究もされているようですが、今の日本の建築物に向いていないと思われます。

【 シロアリは建物構造の変化に対応している 】

しろありNo.152に「シロアリの建物侵入箇所についての施工業者によるアンケート結果」が報告されています。建築構造の変化に伴ってシロアリの家屋への侵入経路も大きく変化してきました。大きな特徴は、コンクリートをはじめとした建築建材の変化です。木材を裸で使用すれば被害に遭わないのに、わざわざ外部を銅板、モルタル、サイディングなどの建材で飾るからシロ

アリの被害が大きくなるのです。

大きな特徴は、目で見える侵入経路から見えない侵入経路になっていることです。見えない敵にどう対応したら良いのでしょうか?相手のことを知らなければ本当の対応はできません。今、私たち現場のシロアリ技術者はシロアリの生態を学ぶことが必要なのです。

あなたは何を武器にしてシロアリの駆除工事で薬剤処理を行いま

すか?

- (1) 日本しろあり対策協会の標準仕様書に基づいて行なう。
- (2) 薬剤メーカーのすすめる方法と使用量を基準に行なう。
- (3) 自分の現場での経験を重視して判断する。

私は自分の経験を最大限に活かすとともに、シロアリを飼育し、その行動を参考にしながら判断しています。



基礎外断熱構造の駆除工事工法

被害のある現場では必ず基礎外断熱材の進入経路を確認します。また、在来工法建築物調査の3倍位の時間と手間を懸けて行い、シロアリの侵入経路と被害箇所、生息箇所を判断します。非破壊検査(ターマトラック)調査も必ず行います。その上で侵入経路と被害箇所を判断して薬剤処理を行います。

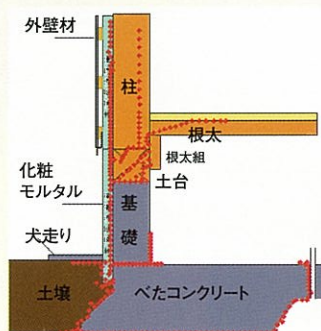
ターマトラック調査は慣れが必要です。自分でヤマトシロアリを飼育して現場と同じ条件を設定して訓練しました。



基礎外断熱材の侵入経路確認

<薬剤施薬時の注意>

基礎外断熱構造の場合、どうしても基礎外部への薬剤処理が必要になります。周辺の状況をよく把握して慎重な施薬が必要です。敷地内の池や植木、ペットにも十分な配慮が必要です。



基礎外断熱構造のシロアリ侵入経路



基礎外断熱非破壊検査(ターマトラック)

<基礎外断熱構造の駆除工事使用薬剤>

木部処理に油性薬剤を絶対使用しないでください。断熱材が溶けてしまいます。水性木部処理剤・乳化剤もしない方がよいと判断しています。乳化剤・溶剤が断熱材の劣化を招きます。

使用薬剤は溶剤を含有しない水溶性薬剤・MC剤が良いと判断します。それと忌避性のある薬剤は避けた方が無難です。

薬剤使用ではありませんが、基礎外断熱材のカッティング撤去も進入経路の遮断としては有効な手段で、撤去部分に水溶固化薬剤を使うと効果的です。



フォーム薬剤注入テスト

<使用薬剤の形状>

使用薬剤の形状は水溶性薬剤かMC薬剤が良いと判断しています。今まで粉剤も使用していましたが、結果は良好ではありませんでした。私は主にMC剤とMCムース剤・フォーム剤を使用しています。MC剤とMCムース剤・フォーム剤は、断熱材中の蟻道に注入するのに適剤と判断しています。基礎外断熱構造の建物の駆除工事を手がけて8年ほどになりますが、幸い今のところ再発らしき結果は起きておりません。

まとまりのない文章で理解しにくいことと思います。ご勘弁ください。基礎断熱構造のシロアリ駆除工事を手掛けている現場技術者の方のお便りをお待ちします。



乳剤注入処理3年後の発泡断熱材劣化

新規剤は、 どのようにして開発・発売されるのか!

バ イエルは年間約百万個の新規化合物を合成し、第一次スクリーニングをパスするのは約2万個弱、そのうちわずか3.75%である750個が二次スクリーニングへ!

皆 さんあまりご存じないかもしれませんが、害虫防除に使用される薬剤開発にはかなりの科学・技

術が注ぎ込まれております。新規殺虫剤などを含む新農薬の開発は新規医薬品開発とあまり変わりません。開発経費は驚くほど莫大です!新規化合物の発見から上市まで何年もかかり、しかも開発の最終段階になっても成功するかどうかは解らないのです。実際、農薬の開発には、対象とする病害虫

あるいは雑草等に対する生物効果や人体への安全性だけでなく詳細で非常に経費のかかる環境中での動態追跡も含まれますので、医薬品の開発よりもより複雑な開発過程を踏まなくてはなりません。

■新規化合物の発見

ど のような過程を経て新規化合物の発見に至るのでしょうか?

バイエルクロップサイエンス社は、毎年約百万個の新規化合物を複雑な生物効果試験にかけています。新たな分子構造を持つ化合物は化学とロボット工学を駆使して合成されます。ロボットはこれら化合物の質量分析にも使用され、さらに生化学的スクリーニングにも利用されており、1日4千から5千個の化合物をスクリーニングしています。これらのスクリーニングにはイオンチャンネル・受容体および伝達系等も含めた



細胞レベルの酵素活性を測定するためのロボットを使用した 全自動型スクリーニング装置 (UHTS: Ultra High Throughput Screening)

細胞を利用したシステムが多く採用されております。

我 々は、効果の向上・コストの低減・毒性および環境への負荷低減・そして既存の化合物に対する抵抗性の問題解決のために常に新しい作用機作を持つ化合物を探索しておりますが、過去半世紀以上の研究・探査にもかかわらず、新しい作用機作をもった化合物の登場は驚くほど少ないのです。

【特異的作用機作をもつ代表的な有効成分】

- **アセチルコリンエステラーゼ阻害剤**
(有機リンおよびカーバメイト系)
- **ナトリウムチャンネル調節剤**
(合成ピレスロイド系)
- **ニコチン系アセチルコリン受容体への電子伝達系遮断剤**(イミダクロプリド: ハチクサンの有効成分)
- **昆虫成長制御剤 (IGK)**
(しろありベイト用薬剤の有効成分など)

今 日でも探査研究には既知の作用機作から探すこともありますが、努力の多くは未知の化合物の中から生物活性の高い新しい作用機作を有する化合物の探索に向けられています。生物効果を見るスクリーニングは有効成分でナノグラムとかマイクログラムレベルの化合物で行うように設定されておりますが、総数のたった1%以下の化合物が細胞システムあるいは組織全体に何らかの効果を示している様です。生物活性の高い物質はその後更に複雑なスクリーニングにかけられて、最終的に虫・雑草・菌・線虫・ダニなど幅広く試験します。この時点で、化学者は毒性・生物活性・製造コスト・物性・環境動態など多方面からみて最適な商品にするため、化学構造の骨格修正に挑みます。

■室内試験

バ イエルは年間約百万個もの化合物をテストしていますが、成功への確立はかなり低いのです。そのうち約二万個以下の化合物が初期スクリーニングにかけられ、更にたった約750個の化合物が研究室・温室内で生物効果・化学的特性の検証にと

進められます。しかしそのうち年間約10個以下の化合物が弊社所有の世界各地にある25箇所の野外試験地のいくつかで試験されるのです。

バ イエル・エンバイロサイエンスは米国ノースカロライナ州のクレイトンに独自の開発・研修センターを保

有しており、このクレイトンの研究センターとバイエルが世界各地に保有している野外試験地で、害虫防除業者・芝生管理者・ゴルフ場のコース管理者が経済的に重要とする30種にも及ぶ病害虫に対し試験を行っています。新規化合物の合成から最初の野外試験に

かけるまでには、3年から4年の歳月を要しています。

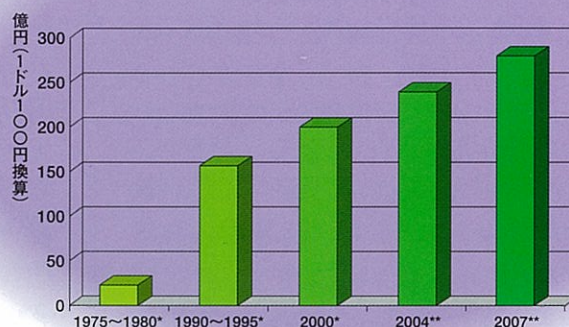
数年間にも及ぶ野外試験そして製造工程・製剤・哺乳動物への毒性・環境動態・作用機作などの厳しい研究の後、バイエル社はこの新規化合物を上市に向けた全面開発をすかどうかの判断を下します。実用場面での最適な効果発現のためには、製剤開発技術をないがしろにするわけにはいきません。いかなる有効成分もターゲットとなる作用点に到達して初めて効果を発揮することが出来るため、企業として満足できる性能へと最適化されるまで多くの特性について何年もかけた緻密な研究が続けられます。製剤技術上、粒子径・表面張力・拡散性・粘性・親和性・浸透性などの特性は特に重要な要素です。

フルスケールでの開発とは、この新規化合物がすべてのコスト・登録上の必要事項・効果試験などをクリアーできる保証は何もないまま、その後4～6年間で数十億円の投資をすることなのです。新規化合物への開発

投資は生物効果のみでは判断できません。市場規模、競合品、戦略的適合性、総投資額250億円が商品寿命中に回収可能か、投資するときのリスクは何か、などを詳細に検討しているのです。

【新規殺虫剤ひとつを開発するために要する経費】

MgDougall社がアメリカとヨーロッパの農業会社のために調査した結果
(BASF, Bayer, Dow, DuPont, Monsanto, Sumitomo, Syngenta)



■商品化へ向けて

フルスケールの開発決定がなされると、科学者で構成された新チームは多種多様の新しい試験を開始します。米国EPAやEU・日本での登録・承認を得るには、化学性・環境毒性・哺乳動物への毒性・対象外植物/虫への毒性・環境動態・代謝物・残留化合物およびリスク評価などの150以上の試験成績が4年間のうちに実施されます。作業は以下のように進められます。

- 合成法の確立と数キログラムから数トンへのスケールアップ製造
- 実製造機: 現有の製造機が利用可能か、新規製造のための投資が必要か
- 標的組織へのドラッグデリバリーのための製剤の最適化
- 対象病害虫・雑草による生物学的利用能の最適化

数千の野外試験が世界各地で実施され、同時に大学などの研究機関に既存の競合品との優位性などの検証を依頼します。250億円以上の投資と数千人もの科学者と大学

の専門家を投入し、すべてが順調に進めば、最初の合成・発見より8年～10年後にはじめて新化合物の登録・承認への運びとなるのです。

しかしながら、新規商品を市場に出すと同時に更なる研究が始まるのです。効果と作用機作をより深く理解するためにすべての野外試験結果の検証をせねばなりません。適用拡大のための製剤の改良・薬害試験・混合剤の有用性・使用時期および使

用方法などが何年も続けられます。実際、現在販売中の商品の改良にかなりの労力を常に注いでおります。常時我々は年間に概ね6種の新規化合物を開発しており、この中からエンバイロサイエンス関連へ転用されているものが少なくありません。これらのいくつかは、プロフェッショナルの皆様が素晴らしいと評価された商品もあり、今後も評価される商品がきっと見つかるかと確信しています。

実態は…

- バイエルは年間650億円強 研究開発に投資している。
- アメリカとヨーロッパの農業工業会の調査では、2000年におけるひとつの新規農薬の発売までに掛かる開発経費は約200億円であった。
- 今日のそれは、250億円を越える。
- バイエルエンバイロサイエンス単独でも、北アメリカにある主要42大学に年間約3億円を投資している。
- 新規有効成分を合成してから発売までは、平均8～10年掛かる。
- 北アメリカでの特許期間は17～20年であるので、発売してから特許が失効するまではわずか10年しかなく、その間にこの多額の投資金額を回収できるかが問題である。

アジェンダフォーム 取り扱いの注意事項

この度、アジェンダフォームのノズル根元部分に一部欠陥が見つかり、あらかじめはめ込んでいたと割れてしまうことが明らかになりました。そこで、経過措置として、弊社の出荷時には、従来のノズルチップと同様に、ノズル本体（ホース付キャップ）を添付させていただくこととさせていただきます。一方で、このホース付キャップに代わる新規ノズルも検討中ですが、しばらくの間、ご不便をお掛けいたしますことをお詫び申し上げます。

ホース付キャップの取り付け方法

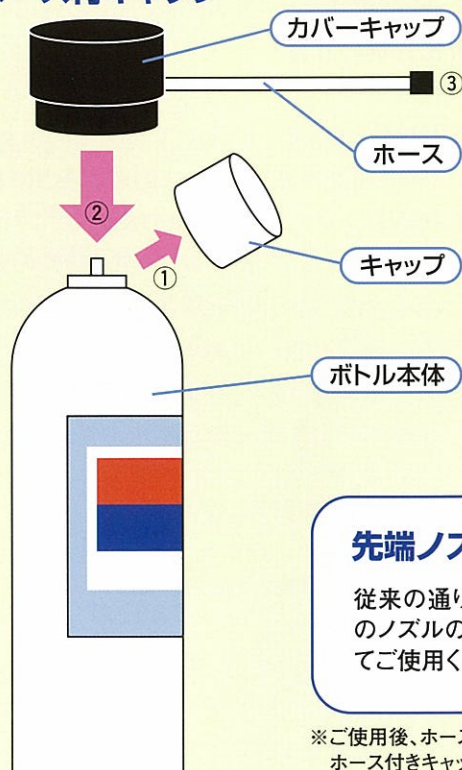
ホース付キャップは、説明書や先端に装着いただくノズルチップと共に製品本体に輪ゴムで止めて添付しています。まずは、説明書に従って、ホース付キャップを製品本体に取り付けてください。その後、アジェンダフォームをお使いになる直前にはよく振ってからご使用ください。

また、ご使用後、薬液が残っている場合は、

ホース付キャップをゆっくりと取り外して、製品本体に白いキャップをして保管してください。ホース付キャップをつけたままにしておくと、その根元部が割れる恐れがあります。

皆さまにはご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

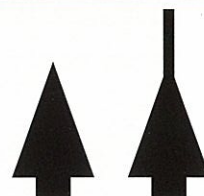
ホース付キャップ



- ① 現場でご使用になる際に、ボトルのキャップをはずしてください。
- ② ホース付キャップのカバーキャップを付けたまま（左図）、缶上部へ真上から取り付けてください。
その際は、破損等の恐れがありますので、金槌などで強く叩かず、徐々に押し込むように取り付けてください。
- ③ ご使用になる際は、先端ノズルをホース付キャップのホースの先に取り付け、薬剤処理を行う直前に、ボトル本体をよく振り、カバーキャップを外してからご使用ください。
使用に際してはラベルをよく読んでください。

先端ノズル

従来の通り、処置箇所に合わせて二つのノズルの内、どちらか一方を装着してご使用ください。



※ご使用後、ホース付きキャップを外し、白いキャップをかぶせて保管してください。ホース付きキャップをつけたまま保管すると割れる恐れがあります。



超過敏症!!

「近くで農薬が散布されている」「隣の洗濯機の音を聞くと洗剤が飛んできそうで気がめいる!」などの過敏症でも極端なケースがあります。

今回の例は、極端ではないのですが輸入野菜は買わないなど、健康志向が高い主婦の方のケースを紹介します。

借家に住んでおり、大家さんがシロアリ防除の契約をしたので、工事の1ヶ月ほど前に防除業者の方からシロアリの防除についての説明を受け、安全なハチクサンを使うので健康上の心配はなく家の中にいて大丈夫。もし不安であれば2階に上がっているように言われました。

彼女の話では、工事当日の施工前に簡単な説明があっただけで工事が始まり、床下での工事中は、家の中にいたり、外の物干しのそばにいたりしたようです。そのうちに事前に説明の無かった浴室の壁や床下への薬剤の穿孔注入に驚き、その穴のセメントの修復跡も粉だっていて汚く、それに触ったら手が荒れてしまったとのこと。小さい子供がいるので心配になり、バイエルに直接電話で薬剤の安全性についての問い合わせがありました。

結果的には何の問題にもなりませんでした

が、ごく微量の化学物質に過敏な方や神経質な方が居られますので、防蟻工事の重要性を説くと共に、事前説明を十分にして、工事後のトラブルが生じないように丁寧な説明が必要ですし、工事ミスが無いような手順をたて（たとえばホースがはずれ薬液が池に入ってしまったなど）、工事終了後の清掃も徹底すべきです。

大阪警察病院の羽白先生の意見は何度か紹介しておりますが、過敏症の人は必ず居られ、精神的に反応が過敏という方も居られるということを、常に念頭において防除工事を行うことを心がけましょう!



鯉が死んだ!? 事前点検(工事前の調査)を!

とある施主からシロアリ工事を依頼されたとき、施主より家の池には一匹10万円ほどの鯉を飼っているので注意して工事してほしいと言われました。それで工事前に念のためと思い池を注意して観察していたところ、鯉が浮いているのを偶然見つけたわけです。もし、この観察を怠って見逃して工事をしていたらと思うとぞっとしました!

このような事例もありますので、ペットに関しても事前に十分な調査を行うよう心がけましょう!



ご愛用者の 声

アジェンダの特性を活かして顧客満足度を高める

株式会社NITTOH 豊橋営業所 所長代理 佐橋 清史様

当社は37年間、白蟻防除を中心に害虫駆除に携わり、その他にも、住宅リフォーム等、住まいに関わる総合的な住宅メンテナンス事業を行っております。

バイエルクロップサイエンス社のアジェンダを2002年4月より使用し始めて、今年で7年目になり、数千件の施工をおこなってきましたが、アジェンダの特徴である、伝播性・残効性が高いため、再発する現場は皆無にちかく、また臭気が極めて少なく、揮発性が低いため、お取り

引き先やお客様より臭い、体の不調等の声もなく、非常に高い評価・信頼を得ております。また当社としても、アフターが少ないため、コスト面でも助かっております。

過去の実績からイエシロアリの施工や床下の構造が複雑で難しい現場等については、当社独自にアジェンダのチラシを作成し、安全性・持続性を強調して、お客様には自信を持って施工の提案をしております。保証満期、予防のお客様には当社独自の工事メニューとして

施工させていただいてから、保証期間内に目視による床下点検だけでなく、アジェンダの残効性を活かした、床下土壌を採集し、薬剤呈色反応による土壌薬剤測定を数回おこなっており、お客様に客観的な視点からも確認をしていただいております。定期的な訪問点検をおこなうことによりメンテナンスの潜在的なニーズの掘り起こしをおこない、お取り引き先や当社としても差別化ができ、大変ご好評をえております。



床下土壌の採集



アジェンダチェックによる呈色反応

Top News

セミナー案内&ニュース

バイエルしろありセミナー 開催日および特別講演決定!

毎年大勢のご参加を頂いております「しろありセミナー」を来年3月初旬、右記の日程で開催いたします。各会場とも午後1時開場予定です。

このセミナーでは第三者の特別講演として、独立行政法人 森林総合研究所 木材保存研究室の大村和香子先生より“アメリカカンザイシロアリおよびキクイムシの日本における生態とその防除方法”、練馬区消費生活センターのアドバイザーであり法制審議会などの委員として活躍されている岡田ヒロミ先生より“特商法の主たる改正点と白蟻防除業における注意点、”を各1時間ご講演いただく予定です。来年早々正式なご案内はいたしますが、是非いまからカレンダーにチェックしておいてください。

開催日	会場
3月8日(月)	東京
3月9日(火)	福岡
3月11日(木)	大阪

ハチクサンFL 乾材シロアリ用駆除薬剤として登録!

今年9月、日本しろあり対策協会により「ハチクサンFL」が乾材シロアリ用駆除薬剤として登録されました。これからも引き続きご愛用ください。

木部処理剤ハチクサンME 新発売!

今年11月より、従来の20WEを改良したマイクロエマルジョン製剤「ハチクサンME」を発売できることになりました。WEに比べ臭い・刺激をより改善した製剤を紙パックに入れ、より環境に配慮した製品です。是非お試しください。

皆様の声をお聞かせください

バイエルはこれからも皆様のお役に立てる商品開発と情報発信に努めてまいります。

- 当ニュースレターは年2回の発行予定です。
- 作業の安全のため、防護メガネ、マスク、手袋を必ず着用してください。